

平成 年分収支内訳書（農業所得用・提出用）

住 所 フリガナ 氏名		業 種 名		依 頼 税 理 士 等	事 務 所 在 地	
		農 園 名			氏 名	
		電 話 番 号			電 話 番 号	

平成 年 月 日

(自 月 日 至 月 日)

科 目			金額（円）	科 目			金額（円）
収入金額	販 売 金 額			経 費	そ の 他 の 経 費	修 繕 費	リ
	家事消費金額 事業消費					動 力 光 熱 費	ヌ
	雑 収 入					作 業 用 衣 料 費	ル
	小 計 (+ +)					農 業 共 済 掛 金	ヲ
	農産物の 棚卸高	期首				荷造運賃手数料	ワ
		期末				土 地 改 良 費	カ
	計 (- +)					水 利 費	ヨ
経 費	雇 人 費			費	の 経 費		タ
	小作料・賃借料						レ
	減 価 償 却 費						ソ
	貸 倒 金					雑 費	ツ
	利 子 割 引 料					農産物 以外の 棚卸高	期首 ネ
	その他の 経費	租 税 公 課	イ				期末 ナ
		種 苗 費	ロ			経費から差し引く果樹 牛馬等の育成費	
		素 蓄 費	ハ			小 計 (イ～ネまでの計 - ナ - ラ)	ラ
		肥 料 費	ニ			経 費 計 (~ までの計 +)	
		飼 料 費	ホ			専従者控除前の所得金額 (-)	
		農 具 費	ヘ			専 従 者 控 除	
		農 薬 費	ト			所 得 金 額 (-)	
		諸 材 料 費	チ			のうち、肉用牛について 特例の適用を受ける金額	

○雇人費の内訳

氏名・住所又は作業名	日 数 延 日	現 金 現 物	合 計	源泉徴収税額
		円		
その 他 (人分)				
計				

○小作料・賃借料の内訳

支 払 先 の 住 所 ・ 氏 名	小作料、賃 耕料等の別	面積・数量	支 払 額
		a・kg	円
		a・kg	

○事業専従者の氏名等

氏 名 (年齢)	続 柄	従 事 数 月 数
(歳)		
(歳)		
(歳)		
(歳)		
延べ従事月数		

農産物等の種類品名等		作付面積 (飼育頭羽数)	販売金額	自家消費 事業消費 金額	農 産 物 の 棚 卸 高				農産物等の種類品名等	作付面積 (飼育頭羽数)	販売金額	自家消費 事業消費 金額	農 産 物 の 棚 卸 高					
					期 首		期 末						期 首		期 末			
					数 量	金 額	数 量	金 額					数 量	金 額	数 量	金 額		
田		a	円	円	kg	円	kg	円	特殊施設		m ²	円	円	kg	円	kg	円	
										B 小計								
										農産物(A+B)	耕作面積	a						
	畑									畜産物その他		頭羽			雑収入の内訳	区 分		金 額
													円					
A 小計									合計(A+B+C)								合 計	

減価償却資産等の 名称 (繰延資産を含む)	面積又は数量	取得(成熟)年月	取得価格	償却の基礎になる金額	償却方法	耐用年数	八償却率又は改定償却率	二本年中の償却期間	ホ本年分の普通償却費 (ロ×ハ×ニ)	ヘ特別償却費	ト本年分の償却費合計 (ホ+ヘ)	チ事業専用割合	リ本年分必要の経費参入額 (ト×チ)	又未償却残高 (期末残高)	摘要
		年月	円			年		- 12月	円	円	円	%	円	円	
		.						- 12							
		.						- 12							
		.						- 12							
		.						- 12							
		.						- 12							
		.						- 12							
		.						- 12							
		/	/	/	/	/	/	/				/			

[illegible]

The first step in the process is to identify the problem. This involves gathering information about the situation and the people involved. Once the problem is identified, the next step is to analyze it. This involves breaking the problem down into its component parts and determining the causes of the problem. Once the causes are identified, the next step is to develop a plan to address the problem. This involves determining the steps that need to be taken to solve the problem and assigning responsibility for each step. Finally, the plan is implemented and the results are monitored. If the problem is not solved, the process is repeated.

平成 年分収支内訳書（農業所得用・本人控え用）

住 所 フリガナ 氏名		業 種 名		依 頼 税 理 士 等	事 務 所 在 地	
		農 園 名			氏 名	
		電 話 番 号			電 話 番 号	

平成 年 月 日

(自 月 日 至 月 日)

科 目			金額 (円)	科 目			金額 (円)
収入金額	販 売 金 額			経 費	そ の 他 の 経 費	修 繕 費	リ
	家事消費金額 事業消費					動 力 光 熱 費	又
	雑 収 入					作 業 用 衣 料 費	ル
	小 計 (+ +)					農 業 共 済 掛 金	ヲ
	農産物の 棚卸高	期首				荷造運賃手数料	ワ
		期末				土 地 改 良 費	カ
	計 (- +)					水 利 費	ヨ
経 費	雇 人 費			費	の 経 費		タ
	小作料・賃借料						レ
	減 価 償 却 費						ソ
	貸 倒 金					雑 費	ツ
	利 子 割 引 料					農産物 以外の 棚卸高	期首 ネ
	その他の 経費	租 税 公 課	イ				期末 ナ
		種 苗 費	ロ			経費から差し引く果樹 牛馬等の育成費	
		素 蓄 費	ハ			小 計 (イ～ネまでの計 - ナ - ラ)	
		肥 料 費	ニ			経 費 計 (~ までの計 +)	
		飼 料 費	ホ			専従者控除前の所得金額 (-)	
		農 具 費	ヘ			専 従 者 控 除	
		農 薬 費	ト			所 得 金 額 (-)	
		諸 材 料 費	チ			のうち、肉用牛について 特例の適用を受ける金額	

○雇人費の内訳

氏名・住所又は作業名	日 数 延 日	現 金 現 物	合 計	源泉徴収税額
		円		
その他 (人分)				
計				

○小作料・賃借料の内訳

支 払 先 の 住 所 ・ 氏 名	小作料、賃 借料等の別	面積・数量	支 払 額
		a・kg	円
		a・kg	

○事業専従者の氏名等

氏 名 (年齢)	続 柄	従 事 月 数 月
(歳)		
(歳)		
(歳)		
(歳)		
延べ従事月数		

農産物等の種類品名等		作付面積 (飼育頭羽数)	販売金額	自家消費 事業消費 金額	農産物の棚卸高				農産物等の種類品名等	作付面積 (飼育頭羽数)	販売金額	自家消費 事業消費 金額	農産物の棚卸高					
					期首		期末						期首		期末			
					数量	金額	数量	金額					数量	金額	数量	金額		
田		a	円	円	kg	円	kg	円	特殊施設		m ²	円	円	kg	円	kg	円	
										B 小計								
										農産物 (A + B)	耕作面積	a						
	畑									畜産物その他		頭羽			雑収入の内訳	区 分		金 額
													円					
A 小計									C 小計					合 計				
A 小計								合計 (A + B + C)						合 計				

減価償却資産等の 名称 (繰延資産を含む)	面積又は数量	取得 (成熟) 年月	取得価格	償却の基礎 になる金額	償却方法	耐用年数	八 償却率 又は 改定償却率	二 本年中の償却期間	ホ 本年分の普通 償却費 (ロ×ハ×ニ)	ヘ 特 別 償 却 費	ト 本年分の償 却費合計 (ホ+ヘ)	チ 事業専 用割合	リ 本年分必要 の経費参入額 (ト×チ)	又 未償却残高 (期末残高)	摘 要
		年 月	円			年		— 12— 月	円	円	円	%	円	円	
		.						— 12—							
		.						— 12—							
		.						— 12—							
		.						— 12—							
		.						— 12—							
		.						— 12—							
		.						— 12—							
		.						— 12—							
	/	/	/	/	/	/	/	/				/			

[illegible]

The first step in the process is to identify the problem. This involves gathering information about the situation and the people involved. Once the problem is identified, the next step is to analyze it. This involves breaking the problem down into its component parts and determining the causes of the problem. Once the causes are identified, the next step is to develop a plan to address the problem. This involves determining the steps that need to be taken to solve the problem and assigning responsibility for each step. Finally, the plan is implemented and the results are monitored. If the problem is not solved, the process is repeated.